

SSKS

# あけぼの つうしん

## 1月号



ゲームで盛り上がりました！ グループホーム樹林の家 忘年会

社会福祉法人あけぼの福祉会 <http://akebono-fukushi.com>

- 府中共同作業所(法人本部) 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6  
☎042-367-0640 E-mail: [kyoudous@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:kyoudous@akebono.fuchu.tokyo.jp)
- ワークセンターこむたん 〒183-0056 東京都府中市寿町3-3-6  
☎042-306-8639 E-mail: [komutan@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:komutan@akebono.fuchu.tokyo.jp)
- 府中生活実習所 〒183-0005 東京都府中市若松町5-2  
(短期入所事業併設) ☎042-363-5251 E-mail: [f-seijitu@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:f-seijitu@akebono.fuchu.tokyo.jp)
- 地域生活支援センターあけぼの 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F  
☎042-358-1085 E-mail: [siencenter@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:siencenter@akebono.fuchu.tokyo.jp)
- ホームヘルプステーションきぼう 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル1F  
☎042-352-0630 E-mail: [kibou@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:kibou@akebono.fuchu.tokyo.jp)
- グループホームペンぎんはうす 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル3,4F  
(グループホームあけぼのユニット) ☎042-319-8915 E-mail: [pengin@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:pengin@akebono.fuchu.tokyo.jp)
- グループホーム樹林の家 〒183-0026 東京都府中市南町6-52-10  
(グループホームあけぼのユニット) ☎042-319-2268 E-mail: [kirin@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:kirin@akebono.fuchu.tokyo.jp)
- あけぼのショートステイ 〒183-0056 東京都府中市寿町3-9-11 山上ビル2F  
☎042-319-8917 E-mail: [akebonoshort@akebono.fuchu.tokyo.jp](mailto:akebonoshort@akebono.fuchu.tokyo.jp)

2023年

1月18日

発行 SSKS 通巻 第8662号

障害者団体定期刊行物協会

定価50円

8月10日

第3種郵便認可(毎週1回 水曜日 発行)

発行所

東京都世田谷区祖師谷3-1-17



## 年頭のご挨拶



社会福祉法人 あけぼの福祉会  
理事長 石崎 朝世



あけぼの福祉会の利用者の皆さん、ご家族の皆さん、職員、そして、あけぼの福祉会の事業や運動をご支援いただいている後援会の方々、ボランティアのご協力をいただいているの方々、新年おめでとうございます。



Happy New Year

昨年も、新型コロナウイルス感染症の脅威に不安と緊張を持ち続けた1年になりました。実際に利用者も職員も感染して苦しい思いをされた方がいらっしゃいましたが、皆の努力もあって、大きなクラスターにはならず事業は継続できました。感染さ

れた方、看護や介護で苦勞された方には心よりお見舞い申し上げます。ただ、今年もこの脅威と向かい合いながら生活し、また仕事をしていかねばならない日々が続きます。



そのような状況の中ですが、私どもは、「どんなに障害が重くても、生き生きと安心して暮らせる社会をめざす」という理念を継続し、皆さまの力もお借りして、利用者のご家族が安心して毎日を送ることができるよう、また、社会全体としても、障害をもつ方が生き生きと生活しやすくなるように、声を上げ、動いていきたいと思っています。







また今年度、あけぼの福祉会は、前述の理念のもと、法人設立 30 周年を迎えました。この節目の年に関係者一同が集い、これまでの歩みを見つめなおし、今後、どのような方向で事業を展開させて行く方針かを発表するとともに、皆様からのご意見を伺う機会を持つ予定にしております。しかし、新型コロナウイルスの脅威が収まらない中、実際に集うことは断念しました。

ただ、法人設立 30 周年記念誌を発行し、その中で、これまでの歩み、関係者の思い、各事業の現状を記すとともに、これからの法人全体および各事業の充実や発展の方向を将来構想として示していこうと思っています。「あけぼのつうしん」でも将来構想の骨格はお示しできると思います。それもお覧になっていただき、皆様の御意見も伺えたらと思います。



式典は中止となりましたが…  
30 周年記念誌の発行に向け準備を進めています



そのような時期ですが、府中共同作業所、府中生活実習所（短期入所事業併設）、ワークセンターこむたん、地域生活支援センターあけぼの、ホームヘルプステーションきぼう、あけぼのショートステイ、グループホームあけぼの（ペンぎんはうす、樹林の家）と7つの事業は継続してい

ます。それぞれが地域に温かく受け入れられていることに、大変感謝しております。定期的に行っております資源回収でも、地域の皆様とのつながりを感じております。

そして、新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策とともに災害対策も怠らないように計画しているところです。

さらに、利用者と職員が生き生きと働けることを目指し、また、今までのように地域の中に入ることを模索し、地域の方々と連携を取らせていただくことを目指したいと思っております。今後の事業の継続、発展には、中堅職員や若い職員の育成と地域の皆さま、関係者の方々のさらなる応援が欠かせないと考えます。



福祉を取り巻く環境はますます厳しくなってくることが予想されます。引き続き、利用者の皆さんやご家族、また、その他の後援会の方々、さまざまな場面で関わってくださる方たちの協力をお願いいたします。また、府中市にお住まいの多くの方々および府中市にも、ご理解をいただけるよう、社会福祉法人としての使命を果たしていければと思います。

新型コロナウイルスの勢いが収まっていくことを心より願いますとともに、皆様のご健康を心より祈っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人あけぼの福祉会  
理事長 石崎朝世



## ワークセンターこむたん 実践紹介

# 『しごと会議』で 季節企画 を考えています！

あけましておめでとうございます。本年もあけぼのつうしん「実践紹介」のページをどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本号では、ワークセンターこむたんの『しごと会議』の実践を紹介したいと思います。

### しごと会議／季節企画とは？



『しごと会議』は2022年度より新たに発足した、利用者の会議です。その名が示すとおり、利用者の労働実践であるしごと活動（以下作業）について、話し合う場です。利用者が自分たちの仕事に対して、主体的に考えて参画をしていくためのしくみとして設けました。

今年度は、まずはできるところから始めようと、季節企画の企画・運営を、『しごと会議』が担う役割として決めました。

季節企画は、ハロウィンやクリスマス、バレンタインなどの時期に合わせて特別商品を受注販売する取り組みです。こむたんの作業においてとても大事にしている実践です。

普段の仕事にプラスして、特別の製造、販売を行なうことで、利用者の工賃充当のための利益を得ることを目的にしていますが、同時に、施設全体、利用者皆で取り組むことで、仕事の成果を全員で共有することも、大事にしています。

『しごと会議』は、季節企画を通じて、ワークセンターこむたんの2部5課をつ

なぐ役割を担っているのです。

### 会議ではこんな話をしています。



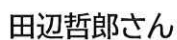
『しごと会議』には各部から1名ずつ代表者が参加するかたちをとりました。食品事業部からは田辺哲郎さんが、総合事業部からは町屋浩志さんが担当することになりました。

毎月定例で、1、2回のペースで開催しています。担当職員2人と代表利用者2人の4人が膝をつき合わせて、「どのような商品を出すと良いか」「価格はどのくらいにした方が良いか」「部署間のコラボレーション商品を出したらどうか」「商品を出さない課には納品を担ってもらおう」等々、アイディアや意見を出し合いながら会議を進めてきました。

「商品を買っていただいたお客様から、感想や意見を聞いて、次からの企画に活かそう」というアイディアも、『しごと会議』で出た意見です。企画商品の納品時に、商品にアンケートを添えるとりくみを始めました。お客様の声を集計し、次の企画検討の参考にしています。

お客様に喜んでいただける企画にしていくなめにはどんな努力が必要なのか？はじまったばかりの『しごと会議』ですが、利用者が自分たちの仕事をじっくり見つめ、考え、積極的な行動につなげられるような場として、これからしっかりとつくり上げていければと考えています。





「このお店はこういう商品をこういう風に売っているんだ！」と感心したことは、会議で報告をするようにしています。



「秋企画」で会議での意見をもとに総合事業部で話し合いをしながら検討を進めて、コラボレーション商品が出来上がった時は感動しました！

ワークセンター・こどもたん 2022 年クリスマス企画 TEL:042-306-0639 FAX:042-367-4220

# クリスマス巾着セット 価格:各 800 円

秋企画でも大好評をいただいた自主製造の巾着に  
クリスマス柄の新しいものをご用意しました。  
中には、ミニシントン(約 110g)が 1 個入っています。  
ちょっとしたプレゼントにぴったりなサイズと内容になっています！  
※各数部に限りがございます。  
ご了承ください。

2

3

4

※全品送料別

## バラエティセット

価格:1 個 500 円

こどもたんの自主製造品を詰め合わせました。  
【おのこどもたん(無添加キャラクター)】デザイン中のセッ  
トです。ご食用用にもご家庭にも、クリスマスギフトにも、ぜひご利用ください！  
※写真は一例です。色や柄、ラッピングは随時変更いたします。

【P30(14 号)】  
クマ・ジロウ(1 個)・・・おにぎりのあんぱんデザインです！  
クマ・ジロウ・スター(1 個)・・・熊と星のあんぱんです！  
おにぎ(1 個)・・・おにぎりのあんぱんデザインです！  
おにぎ(1 個)・・・クリスマス柄のデザインです。トナリと  
合わせて、ぜひのご家族へお送りください！

担当職員：秋葉・木村





## 府中生活実習所 新入職員紹介

生活支援員 鈴木 晶子（すずき あきこ）



12月より府中生活実習所に入職いたしました、鈴木晶子と申します。

前職では、小売業界で販売職として働いておりました。販売を通じて様々なお客様とかかわる中で、障害の有無に関わらず、多くの方が地域で安心安全に暮らすことができるよう環境を整えていきたいという思いが固まり、この度、転職いたしました。

入職してから1か月になりますが、利用者様と一緒に日中活動をし、コミュニケーションを取ることが私の仕事をする上での楽しみであり、モチベーションになっております。

福祉業界は未経験であるため、自分自身至らない点が多く、毎日利用者様から学ばせていただくことが多いですが、1日でも早く利用者様が安心して暮らすことができる職員になれるよう精進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



### 【編集後記】

2022年度をもってあけぼの福祉会は30周年を迎えました。この30年間を支えてきた先人のご家族の努力や苦労は並々ならぬものであったろうことは想像に難くありません。

そして、2023年に31年目を迎えるにあたって、一つ思い浮かんだ言葉は『温故知新』です。この変化の大きい現代社会にあって、新しい1年を踏み出していくにあたっては『故きを温ねて新しきを知る』という考え方が大切だと思います。原点である「どんなに障害が重くても、生き生きと安心して暮らせる社会をめざして」を実現していくために、これまで積み重ねてきた沢山のものを学び、受け継ぎ、新しい時代に適応し、先へと繋げて行く必要があります。私の所属するグループホームでは具体的に、利用者にとってより良い生活を築き、守っていくためには何ができるのか、ご家族と歩んできたことや思い、先人の支援を参考に、より良い支援に繋げていきたいと思っています。このことを胸に、今年も励んで参ります。

本年もどうぞ、あけぼの福祉会、並びにあけぼのつうしんをよろしくお願いいたします。この1年が皆様にとって幸多からんことを祈念しております。

（ぺんぎんはうす 大久保）

1995年  
2023年

8月10日  
1月18日

第3種郵便認可（毎週1回 水曜日 発行）  
発行 SSKS 通巻 第8662号